

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価結果報告書

(平成30年度分)



時と水ゆったり流れる
平川市

令和元年12月
平川市教育委員会

はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

その中で、平成30年度は、第2次平川市長期総合プランの2年目に当たり、魅力あるひとづくりを基本目標に、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に則し、教育施策の推進に努めてまいりました。

本報告書は、当該年度に実施した事務事業について点検及び評価した結果をとりまとめたものであり、作成に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、点検及び評価の客観性を一層確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、それを反映させました。

本報告書は、議会へ提出するとともに、公表することで、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策の更なる充実につなげてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、本報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、市民の皆様信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年12月

平川市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 平成30年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員構成	1
(2) 教育委員会会議状況	1
(3) その他の活動状況	4
2. 教育委員会における事務の点検・評価	
(1) 自己点検・評価の実施状況	6
(2) 具体的な点検・評価の方法	6
3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1) シート1	
教育委員会が管理及び執行する事務	7
(2) シート2	
教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務	8
(3) 事務事業評価表	9～32

1. 平成30年度教育委員会の活動状況

期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

(1) 教育委員構成

教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育委員会制度が始まりました。

平川市では、平成30年2月26日に教育長が新たに市長より任命され、新教育委員会制度に移行しております。

職名	氏名	任期	備考
教育長	柴田正人	H30.2.26～R3.2.25（2期）	
委員	内山浩子	H28.2.25～R2.2.24（3期）	教育長職務代理者
委員	佐々木幸子	H29.3.6～R3.3.5（3期）	
委員	工藤甚三	H31.3.8～R5.3.7（3期）	
委員	葛西万博	H30.2.26～R4.2.25（2期）	
委員	駒井優子	H29.6.11～R3.6.10（2期）	

(2) 教育委員会会議状況

毎月（原則第4火曜日開催）の定例会を計12回開催しました。また、平成31年3月には、平川市教育委員会職員の人事異動について臨時委員会を開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。

また、審議が長時間にわたる場合は継続審議とし、より慎重な審議を行いました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、会議録を作成し、市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月24日 9:30～	議案第11号	平川市教育支援委員会委員の委嘱について	可決
		議案第12号	平川市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について	可決
		議案第13号	平川市社会教育委員の委嘱について	可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月24日 9:30~	議案第14号	平川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案	可決
		議案第15号	平成31年度使用小・中学校用教科用図書採択について	可決
		議案第16号	平成30年度奨学金新規貸与者の決定について	可決
		各課報告	竹館小学校5学年インフルエンザ感染による学年閉鎖について	
		各課報告	平川市社会教育基本計画に関するパブリックコメントについて	
第5回 定例会	5月22日 13:30~	議案第17号	平川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	可決
		議案第18号	平川市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	可決
		議案第19号	市内小・中学校の夏季一斉閉庁について	可決
		議案第10号	平川市社会教育基本計画(案)について	可決
		各課報告	平成29年度分事務事業評価に係る公表までの日程について	
第6回 定例会	6月26日 13:30~	報告第5号	平成30年度教育費6月補正予算について	承認 承認 承認
		報告第6号	専決処分した事項の報告について	
		報告第7号	専決処分した事項の報告について	
		各課報告	点検評価アドバイザー会議の開催について	
第7回 定例会	7月24日 13:30~	議案第20号	平成31年度使用中学校用道徳科教科用図書採択について	可決
		各課報告	平成30年度東北六縣市町村教育委員会連絡協議会委員研修会参加者報告	
第8回 定例会	8月28日 13:30~	報告第8号	教育財産の取得について	承認 継続 審議
		議案第21号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	
		各課報告	碓ヶ関小学校改築事業住民説明会について	
		各課報告	新体育館新築工事入札結果について	
		各課報告	平成30年度南地方市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会について	
第9回 定例会	9月25日 13:30~	各課報告	平賀学校給食センター増築改修工事進捗について	承認 承認 継続 審議
		報告第9号	工事の請負契約について	
		報告第10号	平成30年度教育費9月補正予算について	
		議案第21号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	
		各課報告	給食停止期間における昼食状況について	
各課報告	北海道胆振東部地震による本市小学校修学旅行対応について			

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第9回 定例会	9月25日 13:30~	各課報告 各課報告	平成30年度平川市教育委員学校訪問（後期） について 平川市議会教育民生常任委員会所管事務調査 について	
第10回 定例会	10月23日 13:00~	議案第21号 各課報告 各課報告 各課報告	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点 検及び評価について 小・中学校緊急時連絡方法について 平賀テニスコート人工芝改修事業について 平賀学校給食センター工事完成見学会につい て	可決
第11回 定例会	11月27日 13:30~	各課報告	11月20日からの給食再開について	
第12回 定例会	12月18日 13:30~	報告第11号 報告第12号 報告第13号 議案第22号 議案第23号 各課報告 各課報告 各課報告	平川市学校給食センター設置条例の一部を改 正する条例案 碓ヶ関屋内温水プール（ゆうえい館）の指定管 理者の指定及び指定管理者の管理の期間につ いて 平成30年度教育費12月補正予算について 平川市奨学金貸与条例施行規則の一部改正案 平成30年度平川市教育委員会被表彰者の決 定について 12月1日こつこつ教室の状況について 国際交流事業状況及び今後の予定について 学校給食センター現状報告について	承認 承認 承認 可決 可決
第1回 定例会	1月18日 13:30~	各課報告 各課報告 各課報告	平川市立平賀東小学校新校舎完成事業のご案 内及び状況について 青森県教育振興計画の配布について 1月経過後の給食センター状況について	
第2回 定例会	2月19日 13:30~	議案第1号 議案第2号 議案第3号 各課報告	平成31年度学校教育指導の方針と重点（案） について 平川市文化センター条例施行規則の一部を改 正する規則案 県費負担教職員の人事異動について スポーツ大会派遣補助金の改正について	可決 可決 可決
第1回 臨時会	3月18日 10:30~	議案第4号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月26日 13:30~	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第5号 議案第6号	平川市運動施設条例の一部を改正する条例案 平成30年度教育費3月補正予算について 平成31年度教育関係当初予算について 平成31年度平川市社会教育行政の方針と重点 （案）について 平成31年度平川市保健体育行政の方針と重点 （案）について	承認 承認 承認 可決 可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第3回 定例会	3月26日 13:30~	議案第7号	平成31年度平川市運動施設運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第8号	平成31年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第9号	平川市運動部活動の運営方針(案)について	可決
		議案第10号	平川市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則案	可決
		議案第11号	平川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案	可決
		各課報告	平成31年度市内小中学校入学式日程等について	

(3) その他の活動状況

① 市議会定例会等への出席

教育長が、本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

② 学校訪問

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回(前期・後期)実施し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行いました。

また、各中学校区内の小・中学校の連携強化のため、現状や課題について意見交換をし、共通認識を深めました。

これを踏まえ、後日、委員会において総括を行い、学校教育の更なる充実のため、委員間の共通理解を図りました。

前期

訪問日	訪問校等
5月14日	尾上中学校、猿賀小学校、金田小学校
5月15日	竹館小学校、松崎小学校、柏木小学校
5月16日	小和森小学校、碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校
5月18日	大坊小学校、平賀東小学校
5月22日	平賀西中学校、平賀東中学校

後期

訪問日	訪問校等
11月12日	金田小学校、猿賀小学校、平賀東小学校
11月13日	尾上中学校、平賀西中学校、大坊小学校、平賀東中学校
11月14日	小和森小学校、柏木小学校、竹館小学校
11月15日	松崎小学校、碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校

③ その他行事・協議会等への出席

入学式・卒業式・成人式・表彰式等の式典及び小学校陸上競技大会をはじめ学校の諸行事に積極的に参加し、子どもたちの教育活動の現状把握に努めました。

また、教育委員を対象とした会議、県及び東北ブロック等の研修会に参加し、委員としての幅広い識見を養い、本市の教育行政の資質向上に努めました。

2. 教育委員会における事務の点検・評価

(1) 自己点検・評価の実施状況

① 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、令和元年9月12日に「点検評価アドバイザー会議」を開催。

「点検評価アドバイザー」からいただいた意見を本報告書の原案作成に反映させました。

※令和元年度点検評価アドバイザー

村上 薫 氏 〔平川市教育相談員〕

樋口 正博 氏 〔NPO法人平川市スポーツ協会監事〕

中嶋 静賢 氏 〔黒石市立中郷小学校講師〕

② 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和元年9月、10月、11月の教育委員会において、点検及び評価を行いました。

(2) 具体的な点検・評価の方法

点検・評価は、次のとおり行いました。

① 教育委員会の平成30年度の活動状況について、本報告書にまとめて点検を行いました。

② シート1

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、進捗状況や、会議での審議状況を踏まえて点検を行いました。

③ シート2

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する主な事務事業について、その成果等を踏まえ、AからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

1 教育委員会が管理及び執行する事務

項目	点検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を行い、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	該当事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	教育委員会関係の財産の取得について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 更には、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	教育委員会職員の人事異動に関し、教育委員会に諮った。
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	該当事例なし
(11) 教科用図書を採択すること	平成31年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。

2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務

基本目標	基本政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
魅力あるひとづくり	健やかなひとづくり	未来を切り拓く子どもたちの育成	学校図書整備	B	1	学校教育課
			学校教育振興会	A	2	〃
			学校改築	B	3	〃
			小学校・中学校施設維持管理	B	4	〃
			学校給食の充実	B	5	学校給食センター
			平賀学校給食センター増築改修	B	6	〃
			平川市教職員研修	B	7	指導課
			平川市子ども議会	A	8	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	B	9	〃
			指導主事による学校訪問	B	10	〃
			いじめ防止対策	B	11	〃
			放課後子ども教室	B	12	生涯学習課
	生涯にわたるスポーツライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	13	スポーツ課	
		平川市スポーツ派遣	A	14	〃	
		トップアスリート指導育成・強化	A	15	〃	
		平川市スポーツデー	B	16	〃	
		平賀テニスコート人工芝改修	A	17	平川市運動施設	
	こころ豊かなひとづくり	知識と経験が あふれる生涯 学習の推進	未来の担い手発掘・育成・支援	B	18	生涯学習課
			平成の寺子屋	B	19	平賀公民館
			定例おはなし会	B	20	平川市図書館
			図書館利用促進	B	21	〃
		感性をはぐくむ 芸術文化の 振興	公共ホール音楽活性化	B	22	文化ホール
			文化財保護	B	23	生涯学習課
			郷土資料館	B	24	郷土資料館

事務事業評価表

事業 No. 1

事務事業名	学校図書整備	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	読書より得られる集中力、想像力、判断力の構築、ひいては読書はこころの栄養との考えから、文部科学省で定める「学校図書館図書標準蔵書数」を基に、学校図書の充実に向けた整備を行う。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

文部科学省で定める「学校図書館図書標準蔵書数」を基に、充足率の低い学校から重点的に予算配分し、充足率を高める。

【実績】

実績額合計 : 小学校 1,641,060円 中学校 1,998,987円
 学校図書標準充足率 : 小学校 94.1% (前年89.7%) 中学校 71.6% (前年69.3%)
 全学校 85.8% (前年82.9%)

(株)津軽あっぷるパワーから30万円の寄附を受け、充足率の低い2校(大坊・松崎小学校)に150,000円ずつ配分した。

小学校名	実績額	充足率	中学校名	実績額	充足率
金田	234,661円	91.9%	尾上	625,320円	68.2%
猿賀	84,456円	99.5%	平賀西	720,987円	70.0%
柏木	97,934円	99.4%	平賀東	380,808円	77.6%
大坊	327,845円	72.1%	碓ヶ関	271,872円	70.8%
小和森	128,930円	106.2%			
松崎	372,894円	68.3%			
竹館	66,981円	112.7%			
平賀東	175,371円	105.1%			
碓ヶ関	151,988円	85.2%			

【事業費】 事業費総額 3,641千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	<p>国で定める「学校図書館図書標準蔵書数」を目標に、各校で図書購入が行われたが、依然として充足率の低い学校がある。充足率(国の基準)は、学級数がベースとなっているため、今後は、児童・生徒一人当たりへに換算した数値での検証も行う必要がある。</p> <p>また、蔵書の老朽化の状態も勘案しながら、継続的に充足率を高める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校教育振興会	担当課	学校教育課
-------	---------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	「平川市学校教育振興会補助金交付要綱」に基づき、小・中学校間の連携強化に関わる事業や部活動等の大会出場に係る費用などに補助金を交付し、学校教育・スポーツ・文化芸術の振興及び保護者の負担軽減を図る。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展などの連携事業又は各学校の部活動等の大会出場に係る経費に対し、交付要綱に基づき補助金を交付する。

【実績】

事業名	実績額	備考
部活動等の大会派遣費	※1 9,884,290円	※2 延べ65大会
連携事業費	小学校陸上競技大会運営費	530,000円
	学校音楽発表会運営費	515,788円
	文集ひらかわ	400,000円
	学校保健会	85,000円
	児童・生徒作品展	47,000円
計	11,462,078円	

※1 … 当初予算に不足が生じたため2,792千円を追加した。

※2 … 対象児童・生徒数：541人、引率者数：90人

【事業費】 事業費総額 11,462千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	連携事業費の活用により、学校教育の振興と学校間の連携強化が図られた。また、部活動の大会派遣費は、学校教育振興会からの要望に応え、年度途中で派遣費を増額するなど、充実を図った結果、児童・生徒の目覚ましい活躍につながっている。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校改築	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	老朽化した学校の改築を行い、安全安心な教育環境を維持する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

耐力度調査実施により危険改築の要件を満たした校舎及び屋内運動場について、設計業務を行う。

設計が完了した施設は、国庫補助（負担金及び交付金）等を活用して工事を実施している。

【実績】

(1) 平賀東小学校校舎及び屋内運動場改築事業

委託料（工事監理業務ほか）	30,433,177円
工事請負費（改築・解体工事ほか）	1,121,835,420円
備品購入費（スクールセットほか）	28,133,352円
事務費	641,369円
合計	1,181,043,318円

(2) 猿賀小学校校舎改築事業

委託料（工事監理業務ほか）	10,465,676円
工事請負費（改築工事）	773,745,480円
事務費	256,822円
合計	784,467,978円

(3) 碓ヶ関小学校校舎改築事業

委託料（基本設計業務）	4,763,070円
-------------	------------

【事業費】 事業費総額 1,970,275千円（うち国・県補助 500,519千円）

3. 評価

B	本事業で、平賀東小と猿賀小 2 校の改築工事の大部分を完了することができた。また、碓ヶ関小改築事業の基本設計も完了させるなど、概ね計画どおりに事業を進め、教育環境の充実を図った。
---	---

事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全安心な教育環境の維持管理に努める。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 電気設備や消防設備、遊具などは、定期的に保守管理を行い、状況把握に努める。 また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度・優先度の高いものから修繕等を実施する。</p> <p>【実績】 (1) 小学校の主な工事・修繕</p> <table border="1"> <tr> <td>柏木小学校洋式トイレ改修工事</td> <td>6,112,800円</td> </tr> <tr> <td>竹館小学校洋式トイレ改修工事</td> <td>4,806,000円</td> </tr> <tr> <td>柏木小学校蛍光灯LED化工事</td> <td>4,914,000円</td> </tr> <tr> <td>小学校総合計</td> <td>23,748,788円</td> </tr> </table> <p>(2) 中学校の主な工事・修繕</p> <table border="1"> <tr> <td>平賀東中学校LED取替工事</td> <td>7,938,000円</td> </tr> <tr> <td>平賀東中学校洋式トイレ改修工事</td> <td>5,351,076円</td> </tr> <tr> <td>平賀東中学校普通教室床修繕工事</td> <td>3,672,000円</td> </tr> <tr> <td>中学校総合計</td> <td>20,254,430円</td> </tr> </table> <p>【事業費】 事業費総額 44,004千円 (うち国・県補助 0千円)</p>	柏木小学校洋式トイレ改修工事	6,112,800円	竹館小学校洋式トイレ改修工事	4,806,000円	柏木小学校蛍光灯LED化工事	4,914,000円	小学校総合計	23,748,788円	平賀東中学校LED取替工事	7,938,000円	平賀東中学校洋式トイレ改修工事	5,351,076円	平賀東中学校普通教室床修繕工事	3,672,000円	中学校総合計	20,254,430円
柏木小学校洋式トイレ改修工事	6,112,800円															
竹館小学校洋式トイレ改修工事	4,806,000円															
柏木小学校蛍光灯LED化工事	4,914,000円															
小学校総合計	23,748,788円															
平賀東中学校LED取替工事	7,938,000円															
平賀東中学校洋式トイレ改修工事	5,351,076円															
平賀東中学校普通教室床修繕工事	3,672,000円															
中学校総合計	20,254,430円															

3. 評価

B	<p>学校施設や備品の修繕等について、学校からの要望を受けて現地確認を行い、優先順位を決めて計画的に実施している。</p> <p>平成 30 年度は、3 校のトイレの洋式化、2 校の照明のLED化、1 校の普通教室の床修繕工事を行い、教育環境の充実を図った。</p>
----------	---

1 事務事業評価表

事業 No. 5

事務事業名	学校給食の充実	担当課	平川市学校給食センター
-------	---------	-----	-------------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	平成30年度	
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図るとともに、第2次平川市食育推進計画に掲げられた、「地元農産物利用率の目標達成を目指す。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を実施し、調理器具等の洗浄消毒を徹底させる。

地元農産物利用率目標達成のため、関係機関と連携し運搬方法・保管場所確保等の問題解消に努め、利用の促進を図りながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。

【実績】

衛生管理の徹底・調理員の意識向上により、食中毒防止が図られ、効率的な業務に取り組み、給食を定時に提供できた。

①基本食数（平成30年5月1日現在）

平賀学校給食センター	1,677 食/日
尾上学校給食センター	707 食/日

②農産物利用率

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地元	15.1%	15.0%	15.3%	16.8%	18.1%	16.0%
県内(地元含む)	63.5%	65.2%	65.7%	64.3%	63.6%	65.5%

【事業費】 事業費総額 250,992千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全安心な給食を各小・中学校へ遅延なく提供することができた。</p> <p>地元農産物利用率は、給食センター増築改修工事に伴う給食休止により、前年度比で2.1ポイント減少したが、今後は、更なる安全安心な給食の提供のため、地元及び県内農産物の利用率向上に努める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	平賀学校給食センター増築改修	担当課	平川市学校給食センター
-------	----------------	-----	-------------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個人目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	老朽化した尾上学校給食センターを平賀学校給食センターに統合する増築改修工事等を実施し、安全安心な学校給食の拠点を整備する。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 平成4年に完成した尾上学校給食センターは、経年劣化及び老朽化が著しいため、平賀学校給食センターへ統合し、一日当たり約2,500食対応可能な増築改修工事を実施する。</p> <p>【実績】 (1) 平賀学校給食センター増築改修工事 工事着手：平成 29 年 6 月 16 日 完成：平成 31 年 2 月 1 日 ①基本設計・実施設計・監理業務：27,896 千円 ②改修工事：645,214 千円 増築棟(洗浄室)497.5 m²、渡り廊下、電気設備、給湯設備・冷暖房設備、厨房機械等 改修棟 1,300.6 m²、床下防湿工、内壁防カビ防汚塗装塗替、サラダ室拡張、電気設備改修、給湯設備改修、給排水管更新、衛生器具更新、簡易消火栓新設、厨房機器更新等</p> <p>(2) 平賀学校給食センター屋上防水及び外壁等改修工事 工事着手：平成 30 年 6 月 28 日 完成：平成 30 年 12 月 17 日 ①実施設計・監理業務：3,348 千円 ②改修工事：52,380 千円 屋上防水層改修、外壁改修、衛生器具更新、加熱調理機更新、舗装補修等</p> <p>【事業費】 事業費総額 728,838千円（うち国・県補助 19,619千円）</p>
--

3. 評価

B	平賀学校給食センター増築改修工事において、受変電設備の屋上配置への見直し等により、工事費が増えたものの、概ね計画どおりに完成し、施設の利便性・安全性及び長寿命化が図られた。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

【実績】

管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。また、学級担任等には、学級経営に対する明確な視点を与えられたことにより、教科指導や生徒指導の資質向上に寄与できた。

講座名	実施年月日	参加者
平川市教職員合同着任式講演	平成30年4月5日	200名
平川市全員研修講座	平成30年7月23日	191名
平川市夏期研修講座	平成30年8月3日	42名
平川市教師力向上講座	平成30年8月9日	33名
幼保小連携研修	平成30年12月25日	33名

【事業費】 事業費総額 77千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	特別支援教育や小学校の外国語科など、喫緊の教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上に寄与できた。さらに、教員一人ひとりの課題意識を高め、専門的知識等を習得させ、実践的指導力の向上を図る必要がある。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	平川市子ども議会	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	市議会議場において、市内小学生の代表が議員及び市理事者として議会を疑似体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学び、平川市の「まちづくり」に対する関心を深める機会とする。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 各校2人ずつ18人の子どもたちが、議会制民主主義の仕組みについて学ぶとともに、平川市が抱える課題について考え、話し合いを通して自分たちでその解決策をまとめる。 実際に行われる市議会と同じように、市議会議場において、子ども議会議員による質問と答弁及び子ども議会決議を行う。</p> <p>【実績】 小学生の代表者が、議員及び市長の立場になって質問と答弁を考えることで、平川市を見つめ直すとともに、将来の「まちづくり」について考えさせることができた。 子ども議会において、議員及び市理事者として意見や提案、答弁を行い、市議会の仕組みを理解させることができた。</p> <p>【事業費】 事業費総額 10千円（うち国・県補助 0千円）</p>

3. 評価

A	子ども議会を通して議会制民主主義の仕組みを学び、ふるさと平川市に思いを寄せ、将来のまちづくりへの関心を深めさせるとともに、郷土を愛し、その発展に努めようとする心や態度を育むことができた。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1から2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中の学習支援を行う。

適切な支援の在り方について研さんを積むため、学習支援員研修会を年2回開催する。

【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
賃金（時給1,200円）	16,369,200円
通勤手当(対象17名)	1,178,600円
総支給額	17,547,800円

【事業費】 事業費総額 17,547千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>子どもたちの考えを深めるために発言を促したり、気づいていない視点を示したりするなど、児童・生徒一人ひとりの実態を把握し、学習意欲を引き出しながら、学ぶ楽しさを実感させるとともに、基礎学力の定着・向上を図ることができた。今後は、学級担任等との連携を充実させるとともに、特別な支援が必要な子供たちの多様性に配慮したよりきめ細かな支援を行えるよう、研修の充実を図る必要がある。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業中及び長期休業明けの訪問、随時訪問）を実施する。

【実績】

(1) 計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

(2) 要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

(3) 生徒指導訪問

計画訪問、随時訪問を通して、児童・生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業中及び長期休業明けに市内全小・中学校を訪問し、長期休業中の児童・生徒の行動についての実態把握及び指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の取組について共通理解を図ることができた。

学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問		1校	8校	4校						
要請訪問			1校	2校		3校		7校	2校	
生徒指導訪問	13校			13校	13校				13校	13校

【事業費】 事業費総額 100千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、具体的かつ適切に指導・助言を行った。今後は、学習指導要領改訂に伴う移行期間であることを踏まえて、教育課程の管理や移行措置についての確認、授業改善等について指導・助言を継続していく必要がある。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 11

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	未来を切り拓く子どもたちの育成
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 各校の「学校いじめ防止基本方針対応マニュアル」作成に係る研修会を実施するとともに、保護者や地域住民への周知について指導する。</p> <p>(2) 定期的な指導主事訪問等で各校のいじめ防止等への取組状況を把握し、必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(3) 各校にいじめ等に係る報告書を毎月提出させるとともに、各事案について必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>【実績】</p> <p>平成30年3月に改定した「平川市いじめ防止基本方針マニュアル」に照らし、市内全小・中学校に「学校いじめ防止基本方針」及び対応マニュアルを作成させるとともに、それらを踏まえたいじめ防止対策を推進することができた。</p> <p>【事業費】 事業費総額208千円（うち国・県補助 0千円）</p>

3. 評価

B	<p>各校の「学校いじめ防止基本方針対応マニュアル」作成にあたり、研修会を複数回開催して、新年度に向けたいじめの防止等の体制整備を進めることができた。</p> <p>さらに、いじめ防止の実効性を高めるため、関係機関と連携を強化し、効果的かつ組織的ないじめ防止対策の充実に努める必要がある。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 教育活動推進員や教育活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ（新体操）」教室などを開催し、計画的に活動拠点（居場所）を確保している。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室（市内全域） 年 9回（あみまつハウス） (2) わくわく新体操教室（碓ヶ関地区） 年40回程度（碓ヶ関RGC） (3) わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携）年1回（あみまつハウス、かしわっこクラブ）</p> <p>【実績】 わくわくひらかわ教室を文化センター、わくわく新体操教室を碓ヶ関小学校、わくわく遊び体験教室を柏木小学校で実施した。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室 開催回数 9回 対象者43名（平賀38名、尾上4名、碓ヶ関1名） (2) わくわく新体操教室 開催回数33回 対象者 5名 (3) わくわく遊び体験教室 開催回数 1回 対象者 3名 ※わくわくひらかわ教室については、先着順の募集とした。</p> <p>【事業費】 事業費総額 285千円（うち国・県補助 151千円）</p>

3. 評価

B	<p>本事業は、地域の大人や他校の子どもたちと交流ができる重要な場となっており、教室を重ねるごとに意欲的に発言するなどの成長が見られた。</p> <p>現在、「わくわくひらかわ教室」の申込者の大半が平賀地区となっていることから、今後は市内全域からの参加を促すための工夫が必要である。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 13

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	1 運動施設の環境整備と利活用
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じて平川市スポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツの指導及び普及を図る。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市民の要望に応じた出前教室を29名のスポーツ推進委員で実施する。

- (1) 広報、ホームページによる事業の周知
- (2) 軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- (3) スポーツ推進委員の調整
- (4) スポーツ推進委員の派遣
- (5) 実績報告・謝金支払

【実績】

内 容	件数	参加者	推進員	備 考
体操教室	17	292	20	保育園、婦人会、社福) ほほえみ
親子レク	6	204	19	小学校
スキー教室	4	39	4	保育園
その他	4	118	8	・碓ヶ関中学校PTA対象レク ・わくわく子ども教室 ・日沼町会（世代交流ニュースポーツ大会） ・八幡崎子ども会レク
計	31	653	51	—

【事業費】 事業費総額 128千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>平川市スポーツ推進委員を講師として、市民の要望に応じた出前教室を行うことで、スポーツへの親しみが深まり、市民のスポーツ意識と健康寿命の向上につながっている。</p> <p>今後は、年齢別のプログラムをより充実させ、広い世代に活用してもらえよう努める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	平川市スポーツ派遣	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	市内小・中学生及びスポーツ団体等が、東北・全国大会等へ出場する経費の一部を助成する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】東北大会・全国大会へ参加する個人または団体に対し大会出場経費の一部を助成。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から、申請を受ける。
- ②保健体育課で精査した後、企画財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け、補助金を申請者に交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

助成金：東北（秋田・岩手） 5,000円、北海道、南東北、関東、甲信、北陸、東海 10,000円
近畿、中国、四国、九州 20,000円

【実績】

補助金交付件数

申請種目	申請件数	申請人数	支給額
ソフトテニス	15	62	690,000
一輪車	3	29	290,000
剣道	3	3	40,000
ソフトボール	3	32	440,000
卓球	3	3	40,000
空手	2	35	350,000
新体操	2	9	90,000
野球	2	8	160,000
サッカー	1	17	170,000
バトミントン	1	1	10,000
バレー	1	13	65,000
計	36	212	2,345,000

【事業費】事業費総額 2,345千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	本補助金を活用して小・中学生選手 200 名以上が東北大会・全国大会に出場し、スポーツ意識の高揚と競技力の向上につながった。特に、ソフトテニスと空手は、東北大会を優勝して全国大会に出場するなど、目覚ましい活躍が見られた。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	トップアスリート指導育成・強化	担当課	スポーツ課
-------	-----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成30年度	
事業の目的	平成29年度にオープンした陸上競技場とゆうえい館を活用し、市内小中高生を対象に世界レベルのトップアスリートを招き、子どもたちの各種競技のスキルアップを図るため教室を開催する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】 平成30年度は平川市陸上競技場とゆうえい館において、陸上教室と水泳教室を開催した。</p> <p>①今年度行う競技種目を選定する。 ②マネジメント会社と契約し、選定した競技種目のアスリート（講師）を斡旋してもらう。 ③トップアスリートによる教室を実施する。 ④来年度のアスリートの検討</p> <p>【実績】 陸上教室 北京オリンピック4×100mリレー銅メダリスト「高平慎士」氏を講師に招き、長谷川体育施設陸上部の運営補助のもと陸上教室を開催した。 (教室内容) 日時：平成30年8月12日（日）、場所：平川市陸上競技場、参加者：157名（小中学生対象）</p> <p>水泳教室 シドニーオリンピック100m背泳ぎ銀メダリスト「中村真衣」氏を講師に招き、水泳教室を開催した。 (教室内容) 日時：平成30年12月15,16日、場所：ゆうえい館、参加者：82名（小中高生対象）</p> <p>【事業費】 事業費総額 2,878千円（うち国・県補助 0千円） 陸上：2,452千円、水泳426千円</p>
--

3. 評価

A	子どもたちの憧れの的であるオリンピックメダリストの中から、陸上選手「高平慎士」氏と水泳選手「中村真衣」氏を招へいし、子どもたちが直接指導を受けることで、陸上と水泳の技術力が向上するとともに、スポーツに対する興味や関心を高めることができた。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 16

事務事業名	平川市スポーツデー	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	健やかなひとづくり
	個別目標	生涯にわたるスポーツライフの推進
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	生涯にわたって心身ともに明るく健康な生活を送ることができるよう、市民が気軽にスポーツに親しむ場として、「平川市スポーツデー」を開催する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】 平川市陸上競技場において、スポーツイベントを開催する。</p> <p>①実施メニューの検討及び決定 ②市民及び各団体への広報・ホームページ・チラシなどによる参加の周知 ③アトラクション参加団体及びボランティア団体への協力依頼 ④参加者の取りまとめ ⑤スポーツデーの実施 （陸上競技場において15種目。スタッフはスポーツ協会、スポーツ推進委員、柏木農業高校） ⑥振り返り</p> <p>【実績】 （開催内容） 日 時：平成30年7月15日(日) 場 所：平川市陸上競技場 種 目 数：15種目 参加者：1,254名 幼児競争89名、ボールはともだち19名（新）、サッカードリブル84名 手押し相撲（新）71名、タッチダウン（新）32名、ボール転がし84名 玉入れ195名、ちびっこ親子リレー（新）54名、大縄跳び136名 学校対抗PTAリレー（新）50名、2人3脚リレー108名、スウェーデンリレー80名 ジャベリックボール（新）122名、フライングディスク24名、 アトラクション等106名</p> <p>【事業費】 事業費総額 813千円（うち国・県補助 0千円）</p>
--

3. 評価

B	市民を対象に誰もが気軽に参加することができるスポーツイベントとして開催した。参加人数は増えたものの、世代に偏りがあったことから、今後、開催日や種目など内容を精査し、市民参加型スポーツイベントとして定着するよう取り組んでいく必要がある。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	平賀テニスコート人工芝改修	担当課	平川市運動施設
-------	---------------	-----	---------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	1 運動施設の環境整備と利活用
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	平賀テニスコートの人工芝改修工事を行うことで、安全性・快適性を高め、利用者の増加や新たな大会会場としての利用増を目指す。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 平成15年に設置した平賀テニスコートは、人工芝の長さが摩耗により半分以下となったことから改修が必要な状況となっている。 独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を活用し、改修工事を行う。</p> <p>【実績】 スポーツ振興くじ助成金が交付決定となったことを受け、改修工事を行った。 ○主な改修内容：テニスコート全6面（整備面積4,289㎡）の人工芝張替 ○工事期間：平成30年9月29日 ～ 平成30年11月27日 ○供用開始：令和元年4月</p> <p>【助成金条件】 スポーツ振興くじ助成を受けることで、totoのロゴマークの表示を義務付けられている。</p> <p>【事業費】 事業費総額 62,856千円（うち国・県補助 0千円、スポーツ振興くじ助成金 24,000千円）</p>

3. 評価

A	スポーツ振興くじを活用して人工芝の改修を行ったことにより、利用者がより安全な状態でテニスを楽しめる環境が整い、利用者の増加にもつながった。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 18

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援	担当課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	地域活動に参画意欲のある若い人材の発掘・育成・支援を行うとともに、共に学び、実践を通しながらつながりを深め、将来の地域を担う人材の育成を行う。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 弘前大学との連携事業3年目となる30年度は「活動・支援編」と位置付け、前年度のワークショップで生まれたアイデア『みんなでつくるバスツアーinひらかわ』を形にしようと参加者を募り、バスツアーを実施した。また、一部のグループでは、アイデアを自ら実行に移すための活動をスタートさせている。</p> <p>【実績】 ①メンバーによるグループワーク 5回（延べ参加人数：19人） グループごとに活動内容の確認や今後の活動方針について協議した。 ②バスツアー 1回（参加人数：8人） 市内にある観光スポットを巡り、改めてその土地の歴史や文化に触れることで地区ごとの特色や魅力を再発見し、新たなバスツアーの企画につなげるためのバスツアー「プーさんに気を付ける！～旬のたけのこを求め～」を実施した。 ③活動報告紙「ひらかわ わ！わ！わ！」発行（発行部数：2,000枚） 1年間の活動内容を報告紙として、市内毎戸のほか関係者に配布した。</p> <p>【事業費】 事業費総額 81千円（うち国・県補助 0千円）</p>

3. 評価

B	バスツアーの実施により市内の魅力を再発見したほか、グループワークでの活発な意見交換などを通じて若者同士の交流が図られた。参加者の中には、自らのアイデアを形にしようと自発的に活動を始めた者もいる。今後は、地域と関わる人材育成の先進事例を学習する機会や活用可能な補助事業に関する情報提供などの支援が必要である。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	平成の寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	--------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	生涯にわたって自らが輝き続けるために、講演や文化芸術活動への参加を通して現代社会に適応できる教養を身に付けるとともに、その知識等を積極的かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくりを行うものである。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

20歳以上の市民を対象に、現代社会に適応する教養を身に付けるための講座や移動学習会等を開催する。講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートを実施している。

【実績】

○開催回数：講演会2回、移動学習会1回、体験教室5回、コンサート2回 計10回

○参加者数：延べ289人（男性42人、女性247人）

アンケートの結果、参加者の感想はおおむね良好であり、内容については満足してもらっている印象がある。

開催日	内 容	人数	開催日	内 容	人数
5/26	美味しいコーヒーの淹れ方	15人	9/29	米ちゃんと秋の野山をお散歩しよう	28人
6/23	簡単ね・ながらストレッチ	19人	10/27	整理収納のきほん講座	18人
7/28	便利なコーナンラック製作	14人	12/15	あみまつdeコンサート	60人
8/26	西館好子・子守唄の里だより	90人	1/19	パン食文化と青森県	17人
9/15	消費者トラブル被害防止講座	11人	2/2	旬の野菜を使った料理教室	17人

【事業費】事業費総額 148千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>内容により参加人数の変動はあるものの、屋外散策やコンサートは総じて人気が高い状態にある。</p> <p>参加者が固定化しつつあることから、さらなる参加を促すため、内容を充実させる必要がある。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	読み聞かせを通して、子どもたちの読書への興味を高め、読書習慣を身に付けるようにする。また、学区や学年が異なる子どもたちの相互交流の場にするほか、思い出作りの一助となることを目的とする。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】 月例おはなし会と時節おはなし会は、その都度のテーマに即した内容としている。 実施方法としては、平川市読書推進運動協議会（おはなしこっこん）に読み聞かせを依頼、テーマや内容については、同協議会と相談しながら決めている。 また、会場の飾り付けも行い、雰囲気づくりにも工夫を凝らしている。 周知は、「広報ひらかわ」、市ホームページのほか、ポスターの掲示、チラシの配布等で行っている。</p> <p>【実績】 ・月例おはなし会 開催数：平賀図書館 9回、尾上図書館 10回 参加人数：延べ123名 ・時節おはなし会 開催数：平賀図書館 3回、尾上図書館 2回、碓ヶ関公民館 3回 参加人数：延べ550名</p> <p>【事業費】 事業総額 41千円（うち国・県補助金 0千円）</p>
--

3. 評価

B	<p>各種おはなし会に参加した子どもたちが、読書に興味や関心を持つきっかけになっているほか、図書館を身近に感じ利用するようになっている。また、時節おはなし会は、子どもたちにとって長期休み期間中の思い出にもつながっている。</p> <p>一方で、未満児対象の月齢おはなし会は参加者が少なく、内容の充実を図る必要がある。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	平川市図書館
-------	-----------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	魅力あるひとづくり
	基本政策	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	知識と経験があふれる生涯学習の推進
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	図書館の目的は、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、利用者の教養・調査研究・レクリエーション等に資することであり、このため、平賀図書館・尾上図書館・碓ヶ関公民館図書コーナーの適切な蔵書管理と利用拡大を図ることを目的とする。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

限られた予算の中で蔵書の充実を図るため、平賀・尾上両館では重複購入をなくするほか、無償資料の収集に努めている。また、両館にない資料は、県内相互貸借システムにより、他館から取り寄せて貸し出しをするなど、利用者の要望に応じている。

更には、テーマに応じた「展示」コーナーを設け、魅力ある図書の紹介に努めたほか、「文学散歩青森県」「子ども図書館員」「古典入門講座」「ブックスタート」等の事業や、中・高校生の職場体験の積極的な受け入れなどを行い、利用者拡大に努めている。

【実績】 ※碓ヶ関公民館分()書き

	年度	購入	寄贈	その他	貸出人数	貸出冊数
平賀図書館	29	1,524冊(0)	728冊	6冊	6,201人(164)	27,347冊(376)
	30	1,551冊(0)	947冊	4冊	11,124人(79)	42,964冊(144)
尾上図書館	29	837冊	209冊		7,886人	24,176冊
	30	1,052冊	160冊		5,619人	16,999冊

【事業費】

事業費総額 8,124千円（うち国・県補助金 0千円）

3. 評価

B	時節ごとにテーマを決めて図書の展示方法を工夫している。特に「おはなしのへや」では、乳幼児向けにかわいい動物、乗り物の絵などを壁に貼り付けて楽しい空間を演出し、利用者に喜ばれている。今後も利用者のさらなる拡大を目指し、より利用しやすい空間づくりに取り組む必要がある。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 22

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	1 芸術文化活動の振興
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	現在活躍しているクラシック音楽演奏家を招へいし、コンサートや学校でのアウトリーチを行い、音楽を身近なものとするとともに、感受性や創造性を高めることを目的とする。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 一般財団法人地域創造による助成事業を活用。プレゼンテーションによりアーティストを選定。H28、H29は、ピアノでの実施であったため、異なる分野で且つ吹奏楽部等で馴染みのある金管五重奏とした。 H30より市単独経費でアウトリーチを2回分追加して計6回とし、市内学校に案内したところ、応募が多数であったため、過去の実績を踏まえ選考した。</p> <p>【実績】 出演アーティスト: Buzz Five (バズ・ファイブ) 金管五重奏 アウトリーチ先 : 11月6日 柏木小学校3年生 27名 碓ヶ関小学校4～6年生 31名 11月7日 平賀東小学校6年生 42名 猿賀小学校6年生 30名 11月8日 平賀西中学校1年生 61名 平賀西中学校1年生 31名 (H29=122人 H30=222人) コ ン サ ー ト : 11月9日 文化センターにて 298人 (H29=コンサートなし H30=298人)</p> <p>【事業費】 事業費総額 1,860千円 (うち国・県補助 0千円 その他: 地域創造助成金983千円 入場料220千円)</p>
--

3. 評価

B	<p>アウトリーチの回数を2回増やし、体験者数の増加を図った。 プロのアーティストの演奏に間近で触れ合うことで、子どもたちに夢や感動を与えることができた。 コンサートの入場者について、回を重ねるごとに増えているので、さらなる拡大を目指し、周知等に努める必要がある。</p>
----------	--

事務事業名	文化財保護	担当課	生涯学習課
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護・保存するため、必要な事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し、補助支援を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い、保護に努める。</p> <p>(3) 文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。</p> <p>(4) 無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。</p> <p>(5) 文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p>【実績】</p> <p>所有者が実施する「国名勝盛美園保存整備事業（国庫補助）」及び無形文化財保存団体（市補助）に支援したほか、文化財標柱の更新、文化財火災防ぎょ訓練、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（試掘調査）等を行った。</p> <p>【事業費】 事業費総額 11,044千円 （うち国・県補助 7,448千円、市負担 1,831千円、所有者負担 1,765千円）</p>

3. 評価

B	<p>国指定文化財所有者や無形民俗文化財保存団体に対して補助支援を行ったほか、市指定文化財の現況を確認するための調査を行った。</p> <p>市内に残る貴重な文化財の保護・保存や世代交代などに伴う忘失を防止するため、今後も補助事業や現地調査を継続する必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 24

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	平成 30 年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

- (1) 資料の適切な保管と展示を行う。
- (2) 展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- (3) 収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。

【実績】

種別	事業名	開催場所	観覧・参加人数
展示会	西谷昇仙展	文化センター	自由見学
	和風ドールハウス展	文化センター	自由見学
見学会	史跡・文化財巡り～南部の中世城館～	南部町・三戸町	35名参加
	ひらかわ歴史散歩	大光寺・本町地区	21名参加
体験学習	土偶をつくろう	文化センター	15名参加
	縄文クッキーづくり	文化センター	20名参加
伝統文化鑑賞会	弘前藩の剣術	文化センター	33名参加
	染物と紋	文化センター	33名参加

その他、学習機会の支援として、収蔵資料をおいらせ町教育委員会（原遺跡出土品）、弘前大学（五輪野遺跡他出土品）に貸出したほか、文化財を活かした魅力発信事業（弘大連携）で収蔵資料の整理と収蔵庫の調査・改修を行い、資料の適切な保管、収蔵能力の向上を図った。

【事業費】事業費総額 1,330千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	郷土の歴史や文化財、芸術などについて見識を深める機会を提供できた。また、収蔵庫の改修と弘前大学との連携で資料整理を実施し、郷土資料の適切な保管と利便性の向上を図った。今後は、新たな企画を通して参加者の拡大を図る必要がある。
----------	---